



世界の仲間たちと活動しています



- ① チャリティ自転車レースに参加(イギリス) ② 田辺龍神 ながきの森の植林活動(日本)
- ③ ビクトリア湖 環境教育プログラム(ケニア) ④ エコラーニング プログラム(トルコ)
- ⑤ 女性の心臓病予防活動に参加(アメリカ) ⑥ ビーチクリーンアップ活動(パナマ)
- ⑦ 太陽電池をテーマとした出前授業(日本) ⑧ 環境教育活動を全土で展開(中国)
- ⑨ 孤児院でチャリティイベント開催(カザフスタン)

パナソニック株式会社 コーポレートコミュニケーション本部
社会文化グループ

■ 大阪: 〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006 電話(06)6909-6700(直通)

■ 東京: 〒105-8581 東京都港区芝公園1-1-2 電話(03)6403-3140(直通)

発行: 2011年6月

最新の情報をホームページでご覧ください

パナソニックの企業市民活動

panasonic.co.jp/cca

■ この冊子はPUDフォントを使用しています。当社はユニバーサルデザイン研究にも力を入れており、より多くの方に見やすい文字の研究を重ね、独自のフォント「PUDフォント」(日本語・英語)を開発し商品表示に使用しています。



Panasonic

ideas for life

Panasonic's Corporate Citizenship

パナソニックの企業市民活動



eco
ideas

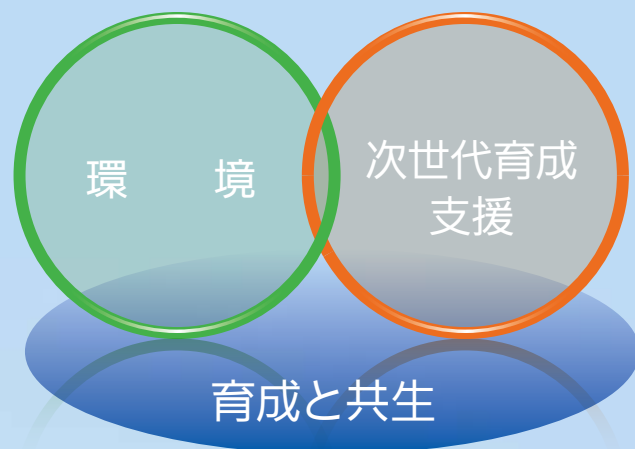
panasonic.co.jp/cca

持続可能な 社会へ向けて

パナソニックグループは
「社会の公器」として、本業を通じて
社会へ貢献していくという経営理念を
創業以来のDNAとして連綿と受け継いでいます。

あらゆる事業活動の基軸に「環境」を置き
世界の人々に、持続可能で
より安心・快適、楽しい暮らしを提供する
「エレクトロニクスNo.1の環境革新企業」を
目指しています。

東日本大震災により被災された皆様には
心よりお見舞いを申し上げます。
皆様の安全と一日も早い復旧を
心よりお祈り申し上げます。



私たちは、持続可能な社会の実現に向けて
「育成と共生」を活動理念に
「環境」と「次世代育成支援」を重点分野として
企業市民活動をグローバルに展開しています。
一企業としての活動だけではなく
NPO・NGOや行政との協働
社員一人ひとりのボランティア活動支援なども
推進しています。

ホームページでもくわしくご紹介しています
panasonic.co.jp/cca



つながれ、世界へ未来へ

世界39の国と地域をつないで パナソニック エコリレー・フォー・サステナブル・アース



「パナソニック エコリレー・フォー・サステナブル・アース」という名称のもと、全世界の従業員一人ひとりが地球市民として、具体的に環境活動を推進しています。持続可能な地球環境と社会づくりに貢献するために、人をつなぎ、地域をつなぎ、活動をつなぎ、次世代につなぎ、グローバルにつなぎ、より大きな社会的成果を目指します。

「パナソニック エコリレー・フォー・サステナブル・アース」という名称のもと、全世界の従業員一人ひとりが地球市民として、具体的に環境活動を推進しています。持続可能な地球環境と社会づくりに貢献するために、人をつなぎ、地域をつなぎ、活動をつなぎ、次世代につなぎ、グローバルにつなぎ、より大きな社会的成果を目指します。



昼休みの過ごし方やお昼ごはんの食材・調理・かたづけなどをテーマに、身近にエコロジーを考え実践する「アースランチアワー」を実施しています。(タンザニアでの取り組みの様子)



タイパナソニックグループとタイ三洋電機が合同で海洋保護の活動を行いました。

詳しい情報は <http://panasonic.co.jp/cc/environment> ホームページで

新興国の課題解決に向けて

パナソニックは、グローバル企業として国際社会の公約である「国連ミレニアム開発目標(MDGs)」達成に貢献するため、新興国の課題への取り組みを強化しています。

生活環境の向上にソーラーランタンを提供



ソーラーランタン タンザニアでの寄贈式

国連開発計画(UNDP)などが運営するタンザニア、ムボラ・ミレニアム・ビレッジで電気のない環境下においてくらす人々にソーラーランタンを

海を守り、地球を守る WWF 黄海エコリージョン支援プロジェクト

WWFが世界中で優先的に保全すべき自然環境の一つとした中国と朝鮮半島に囲まれた黄海周辺の海洋生態系と人々の暮らしとの共生を目指すプロジェクトで、アジアで初のコーポレートサポーターとして支援しています。2010年から第2ステージがスタートし、中国遼寧省の鴨緑江河口域沿岸と、韓国全羅南道のムアン郡沿岸をモデル地域として沿岸の漁業・渡り鳥・海底生物のつながりを科学的に調査し、持続可能な利用と保全への対策が実現することを目指します。



韓国・ムアン郡の干潟生き物研究センターで子どもたちへの環境教育を実施。



©1986 Panda symbol WWF-World Wide Fund For Nature (Formerly World Wildlife Fund)
® WWF is a WWF-World Wide Fund For Nature (Formerly World Wildlife Fund) Registered Trademark

モノだけでなく未来も創り出す工場 エコアイディア工場



パナソニックライティングインドネシアはグローバル環境教育プログラムを活用した環境教育活動を実施しています。

当社の環境戦略を具現化するモデル工場である「エコアイディア工場」では、エコ製品の製造や生産時のCO₂排出量削減、リサイクルの推進などの積極的な環境活動を進めています。さらに、地域の学校へ環境教育を継続的に実施するなど、地域に密着した活動を進めていきます。

子どもが輝けば、未来が輝く

環境教育を基軸に パナソニックキッズスクール



「パナソニックキッズスクール」では、「こどもがかがやけば、みらいがかがやく。」というコンセプトのもと、世界中で子どもたちの夢や未来の可能性を応援するプログラムを提供しています。とくに、持続可能な社会の実現には、子どもたちへ環境教育を行うことが不可欠だと考え、2010年度に、グローバル環境教育プログラムEco Learning Program(ELP)を開発。日本・中国・アジア・欧州をはじめとする世界約25ヶ国、約21万2千人へ環境教育を実施しました。2011年度は、北米・中南米などにも活動を広げていく予定です。



パナソニックインドでのELN活用の様子。誰もが容易に使える教育プログラムで、社員や学校の先生が活用しています。



ELPのほかにも、子どもたちのエコの心を育む「エコ絵日記コンテスト」を全世界で実施。2010年度はハラミージョさん(パナマ)の作品が最優秀賞に選ばれました。

詳しい情報は <http://panasonic.co.jp/cc/child> ホームページで

Panasonic NPO サポートファンド for アフリカ



助成団体の一つNPO法人「道普講人」の活動

アフリカで活動するNPO・NGOの組織基盤を強化するプログラムを運営しています。このプログラムは日本国内に本拠を置き、アフリカでさまざまな活動を行っているNPO・NGOの「広報活動」を支援します。

■中国、アジアに続き、欧州でも環境教育を本格スタート

欧州では、2010年度より「キッズスクール エコラーニング プログラム」をスタート。ELPやエコ絵日記などに加え、環境NPO団体FEE(環境教育基金)と共同開発した教材を学校へ提供しています。社員ボランティアが参加するなどそれぞれの地域で積極的に活動を展開。2010年度は約1万6千人の子どもたちを対象に環境教育を実施しました。



環境学習教材などがダウンロードできるWEBサイトを立ち上げています。

■日本での出前授業をベースに世界へ

日本では、2009年度から本格的に社員が学校を訪問し、モノづくりの経験やノウハウを活かして、出前授業を実践したり、学校で先生が実施できる教材を提供しています。その1つである、社会科・環境学習プログラムの「エコ・モノ語(がたり)」は、グローバル環境教育プログラム(ELP)のベースとなっており、日本でも高く評価されています。(2010年度経済産業省主催の「第1回キャリア教育アワード」で最優秀賞を受賞)



2010年度は327校の小中学校に対し、出前授業や教材提供を行いました。

地球市民活動を通じて次世代育成マインドが社員にも浸透 イギリス

社員のボランティア活動を資金支援する「パナソニック地球市民活動支援プログラム」を活用して、社員が地元の青少年育成に取り組んでいます。イギリスのプラットさんはキャンプ・トレーニング活動に参画し、青少年を個人として、また地域社会の一員として育成することに取り組んでいます。



エムブルックスカウトグループが行うキャンプ・トレーニングの様子(イギリス)